

暮らし

施策別 行政サービス成果表

視点	01 暮らし		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	01 住む	コスト 合計	245,917千円	237,891千円				483,808千円
施策	01 良好な都市環境を整備します							

【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
都市計画管理事業	9,993千円	17,346千円	0千円	27,339千円	都市整備部 都市計画課
都市景観形成事業	2,935千円	8,673千円	0千円	11,608千円	都市整備部 都市計画課
開発行為審査事業	4,312千円	26,019千円	0千円	30,331千円	都市整備部 開発指導課
住宅・宅地調整事業	144千円	17,346千円	0千円	17,490千円	都市整備部 開発指導課
地籍調査事業	10,151千円	17,346千円	0千円	27,497千円	都市整備部 都市計画課
まちづくり支援事業	3,757千円	17,346千円	0千円	21,103千円	都市整備部 都市計画課
建築指導事業	15,793千円	86,730千円	0千円	102,523千円	都市整備部 建築指導課

【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 「居住地域に住み続けたい」と思う市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>「居住地域に住み続けたい」と思う市民の割合</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析	・自分たちが暮らす“ふるさと川西”への愛着の高さがわかる。		
	目標達成に向けた今後の課題	・都市計画決定により住み続けたいと思うまちの実現を図る。 ・これまで展開してきた市民・事業者・行政による協働のまちづくりを今後も展開していく。		
	担当課	都市整備部 都市計画課		

評価指標				傾向
2 民間住宅の耐震化率	定義	方向性	市内民間住宅のうち耐震性を有する住宅の割合	<p>民間住宅の耐震化率</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析	住宅耐震改修促進事業の実施などにより、緩やかながら確実に耐震化は進んでいる。(数値は国の統計から5年ごとに算定)		
	目標達成に向けた今後の課題	安全・安心まちづくりの実現に向け、今後も、住宅耐震改修促進事業や市民・事業者への啓発などを実施しながら、耐震化の推進に努力していく。		
	担当課	都市整備部 建築指導課		

評価指標				傾向
3 川西市の景観に関心がある市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>川西市の景観に関心がある市民の割合</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析	・市民の景観への関心の高さがわかる。 ・平成26年度に景観計画を策定し、景観条例を改正した。		
	目標達成に向けた今後の課題	・これまで市民と共に培ってきた景観を育み、誇りの持てる景観へ発展させる。 ・今後、景観計画の啓発・普及と景観計画の実現に改正条例の施行を進める必要がある。		
	担当課	都市整備部 都市計画課		

施策別 行政サービス成果表

視点	01 暮らし		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	01 住む							
施策	02 道路や橋りょうの安全性・機能性を高めます	コスト合計	1,932,001千円	1,741,490千円				3,673,491千円

【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
歩道整備事業	35,866千円	8,673千円	0千円	44,539千円	都市整備部 道路整備課
道路管理事業	23,237千円	59,904千円	0千円	83,141千円	都市整備部 道路管理課
道路・水路維持補修事業	293,836千円	60,711千円	863,938千円	1,218,485千円	都市整備部 道路管理課
私道舗装助成事業	0千円	0千円	0千円	0千円	都市整備部 道路管理課
側溝新設事業	10,879千円	8,673千円	0千円	19,552千円	都市整備部 道路整備課
狭あい道路整備事業	2,457千円	0千円	0千円	2,457千円	都市整備部 道路管理課
道路改良事業	69,559千円	12,606千円	0千円	82,165千円	都市整備部 道路整備課
市道化対策事業	52千円	0千円	0千円	52千円	都市整備部 道路管理課
橋りょう維持補修事業	48,769千円	8,673千円	8,117千円	65,559千円	都市整備部 道路管理課
街路新設改良事業	17,734千円	17,346千円	0千円	35,080千円	都市整備部 道路整備課
新名神周辺対策事業	155,768千円	34,692千円	0千円	190,460千円	都市整備部 道路整備課

【施策評価指標】

評価指標				傾向
「生活道路が安心して 1 通行できる」と思う市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	「生活道路が安心して通行できる」と思う市民の割合
	実績値の評価・分析		「安心」の概念について、「①道路の表面」、「②夜の明るさ」、「③見通しの良さ」に分類し、其々の方策を考察、決定する。	
	目標達成に向けた今後の課題		事故や事件防止につながる「見通しの良さ」の効果を上げるため、視覚障害となる植栽物などの整理を行うことにより、子育て世代の評価アップをめざす。「夜の明るさについては」安全灯のLED化による効果が期待できる。	
	担当課		都市整備部 道路管理課	

評価指標				傾向
「幹線道路で円滑な交通 2 が確保されている」と思う市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	「幹線道路で円滑な交通が確保されている」と思う市民の割合
	実績値の評価・分析		・昨年度は新規開通路線がなかったため、減少傾向になったと考えられる。	
	目標達成に向けた今後の課題		・幹線道路となる都市計画道路を優先的に整備することにより、改善を図る必要がある。	
	担当課		都市整備部 道路整備課	

施策別 行政サービス成果表

視点	01 暮らし		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	01 住む							
施策	03 交通安全の施設整備と啓発を行い、交通事故を減らします	コスト合計	249,005千円	258,905千円				507,910千円

【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
交通安全施設整備事業	161,821千円	26,019千円	256千円	188,096千円	都市整備部 道路管理課
違法駐車等対策事業	843千円	0千円	0千円	843千円	都市整備部 道路管理課
放置自転車対策事業	47,955千円	12,606千円	0千円	60,561千円	都市整備部 道路管理課
交通安全啓発事業	9,405千円	0千円	0千円	9,405千円	都市整備部 道路管理課

【施策評価指標】

評価指標				傾向														
違法駐車等防止重点 1 区域における瞬間駐車台数	定義	方向性	瞬間駐車台数調査より	<p>違法駐車等防止重点区域における瞬間駐車台数</p> <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>数値</th></tr> <tr><td>基準値</td><td>31.3</td></tr> <tr><td>H25</td><td>28.2</td></tr> <tr><td>H26</td><td>28.1</td></tr> <tr><td>H27</td><td>28.0</td></tr> <tr><td>H28</td><td>28.0</td></tr> <tr><td>目標値</td><td>28.0</td></tr> </table>	項目	数値	基準値	31.3	H25	28.2	H26	28.1	H27	28.0	H28	28.0	目標値	28.0
	項目	数値																
	基準値	31.3																
	H25	28.2																
H26	28.1																	
H27	28.0																	
H28	28.0																	
目標値	28.0																	
実績値の評価・分析		毎月実施している迷惑駐放街頭啓発などにより、減少傾向にある。																
目標達成に向けた今後の課題		啓発活動を継続する必要がある。																
担当課		都市整備部 道路管理課																

施策別 行政サービス成果表

視点	01 暮らし		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	01 住む	コスト 合計	487,312千円	428,346千円				915,658千円
施策	04 公園を利用しやすくします							

【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
公園改良事業	217,384千円	8,673千円	105千円	226,162千円	都市整備部 公園緑地課
公園維持管理事業	151,940千円	29,952千円	20,292千円	202,184千円	都市整備部 公園緑地課

【施策評価指標】

評価指標				傾向														
1 公園を満足して利用している市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>公園を満足して利用している市民の割合</p> <table border="1"> <tr><th>年度</th><th>割合 (%)</th></tr> <tr><td>基準値</td><td>16.0</td></tr> <tr><td>H25</td><td>14.7</td></tr> <tr><td>H26</td><td>10.9</td></tr> <tr><td>H27</td><td></td></tr> <tr><td>H28</td><td>21.0</td></tr> <tr><td>目標値</td><td></td></tr> </table>	年度	割合 (%)	基準値	16.0	H25	14.7	H26	10.9	H27		H28	21.0	目標値	
	年度	割合 (%)																
	基準値	16.0																
	H25	14.7																
H26	10.9																	
H27																		
H28	21.0																	
目標値																		
実績値の評価・分析		・公園施設の老朽化が進んでいる。																
目標達成に向けた今後の課題		・川西市公園施設長寿命化計画に基づき、施設の修繕・撤去・更新を進めていく。 ・一部公園において、地域の自主性を活かすため、維持管理(除草・低木剪定)を地域自治会に委託している。																
担当課		都市整備部 公園緑地課																

施策別 行政サービス成果表

視点	01 暮らし		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	01 住む							
施策	05 安全で安定した上下水道の環境整備を促進し、健全な事業経営に努めます	コスト合計	1,128,442千円	1,151,866千円				2,280,308千円

【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
水道事業会計支援事業	40,573千円	0千円	14,834千円	55,407千円	総合政策部 財政室
下水道事業会計負担金及び補助金	996,439千円	0千円	100,020千円	1,096,459千円	総合政策部 財政室

【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 「川西の水が安心して飲める」と思う市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>「川西の水が安心して飲める」と思う市民の割合</p> <p>90% 85% 80% 75% 70%</p> <p>76.8 80.0 77.6 82.0</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析		安心して飲める水質を確保していながら、20%を超える人が安心できないとの結果について、局からのPR不足が一因と考えられる。	
	目標達成に向けた今後の課題		不断の水質管理に加え、安全な水道水のPRを局のホームページや広報紙、施設見学会などを通じて積極的に行っていく。	
	担当課		上下水道局 経営企画課	

評価指標				傾向
2 水洗化の普及率	定義	方向性	水洗化人口÷行政区域人口	<p>水洗化の普及率</p> <p>100% 99% 98% 97%</p> <p>98.6 98.6 98.7 99.0</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析		資金調達や地権者の同意を得るのが困難なケースにより、急激な改善は見られないものの、地道な努力により微増となった。	
	目標達成に向けた今後の課題		「川西市水洗便所等改造資金助成制度」などのPRと、継続的で粘り強い水洗化の啓発を行っていく。	
	担当課		上下水道局 給排水設備課	

評価指標				傾向
3 浄水場から配水した水量に対する、水道料金に結び付いた水量の割合	定義	方向性	有収水量÷配水量	<p>浄水場から配水した水量に対する、水道料金に結び付いた水量の割合</p> <p>100% 98% 96% 94% 90%</p> <p>94.1 96.0 95.3 96.0</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析		発見困難な微量漏水が発生しており、有収率が減率となっている。	
	目標達成に向けた今後の課題		有収率向上のため、漏水調査を積極的に行うとともに、鉛製給水管を主とした更新事業を継続的に行う。	
	担当課		上下水道局 水道技術課	

施策別 行政サービス成果表

視点	01 暮らし		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	01 住む	コスト 合計	104,355千円	124,965千円				229,320千円
施策	06 市街地の整備を進めます							

【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
再開発総務管理事業	12,378千円	8,673千円	64,314千円	85,365千円	都市整備部 都市・交通政策課
土地区画整理事業	0千円	8,673千円	0千円	8,673千円	都市整備部 都市・交通政策課
空港周辺地域整備事業	16,946千円	12,606千円	1,375千円	30,927千円	都市整備部 空港対策課

施策別 行政サービス成果表

視点	01 暮らし		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	01 住む	中央北地区のまちづくりを進めます	1,531,276千円	982,628千円				2,513,904千円
施策	07							

【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
中央北地区推進事業	922,751千円	26,019千円	33,166千円	981,936千円	キセラ川西整備部 地区推進課
中央北地区整備事業	692千円	0千円	0千円	692千円	キセラ川西整備部 地区整備課

【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 地区内公共施設整備率	定義	方向性	供用開始道路延長 ÷ 整備予定道路延長	<p>地区内公共施設整備率</p>
	実績値の評価・分析		目標値の達成に向け、道路整備工事を実施している。補償・移転交渉や地中構造物の確認等、不測の事態により工程等を変更せざるを得ない場合がある。	
	目標達成に向けた今後の課題		地区内の工事が本格化し、同時に複数の工事が施工されるため、効果的な施工管理に努める必要がある。	
	担当課		キセラ川西整備部 地区整備課	

評価指標				傾向
2 地区内宅地率	定義	方向性	整備済宅地面積 ÷ 整備予定宅地面積	<p>地区内宅地率</p>
	実績値の評価・分析		目標値の達成に向け、整地工事を実施している。補償・移転交渉や地中構造物の確認等、不測の事態により工程等を変更せざるを得ない場合がある。	
	目標達成に向けた今後の課題		地区内の工事が本格化し、同時に複数の工事が施工されるため、効果的な施工管理に努める必要がある。	
	担当課		キセラ川西整備部 地区整備課	

施策別 行政サービス成果表

視点	01 暮らし		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	01 住む	コスト 合計	52,350千円	54,334千円				106,684千円
施策	08 総合的な交通環境の向上を図ります							

【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
公共交通支援事業	36,988千円	17,346千円	0千円	54,334千円	都市整備部 都市・交通政策課

【施策評価指標】

評価指標				傾向														
1 ノンステップバス導入率	定義	方向性	市内運行バス台数に係る導入率	<p>ノンステップバス導入率</p> <table border="1"> <tr><th>年次</th><td>基準値</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>目標値</td></tr> <tr><th>導入率</th><td></td><td>44.5</td><td>55.0</td><td>58.1</td><td>65.0</td><td>65.0</td></tr> </table>	年次	基準値	H25	H26	H27	H28	目標値	導入率		44.5	55.0	58.1	65.0	65.0
	年次	基準値	H25		H26	H27	H28	目標値										
	導入率		44.5		55.0	58.1	65.0	65.0										
	実績値の評価・分析		ノンステップバスの車両購入に対して、国等と協調補助をしており、平成26年度においても導入率は増加している。															
目標達成に向けた今後の課題		継続的にノンステップバスの購入補助をしていくことで、目標値に到達することが期待できる。																
担当課			都市整備部 都市・交通政策課															

評価指標				傾向														
主に鉄道やバスなどの公共交通機関を利用している市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>主に鉄道やバスなどの公共交通機関を利用している市民の割合</p> <table border="1"> <tr><th>年次</th><td>基準値</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>目標値</td></tr> <tr><th>割合</th><td></td><td>51.9</td><td>53.2</td><td>52.0</td><td>55.0</td><td>55.0</td></tr> </table>	年次	基準値	H25	H26	H27	H28	目標値	割合		51.9	53.2	52.0	55.0	55.0
	年次	基準値	H25		H26	H27	H28	目標値										
	割合		51.9		53.2	52.0	55.0	55.0										
	実績値の評価・分析		モビリティ・マネジメント等の公共交通に関する取組効果がすぐに評価として表れていないと推察される。															
目標達成に向けた今後の課題		公共交通基本計画で定めた14の取組の方向性に沿って具体の施策を推進していく必要がある。																
担当課			都市整備部 都市・交通政策課															

施策別 行政サービス成果表

視点	01 暮らし		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	01 住む	コスト 合計	676,688千円	722,013千円				1,398,701千円
施策	09 公営住宅を適正・効率的に管理します							

【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
住宅供給促進事業	135,929千円	8,673千円	0千円	144,602千円	都市整備部 住宅政策課
市営住宅維持管理事業	131,353千円	38,625千円	407,433千円	577,411千円	都市整備部 住宅政策課

【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 公営住宅の管理戸数	定義	方向性	公営住宅(借上げ公営住宅含む)の管理戸数 →	<p>公営住宅の管理戸数</p> <p>1,150 戸 1,125 戸 1,100 戸 1,075 戸 1,050 戸</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析		築年数の古い平屋住宅の解体を実施した。	
	目標達成に向けた今後の課題		目標値に足りない戸数については、特定優良賃貸住宅を借り上げ公営化することで確保する。	
	担当課		都市整備部 住宅政策課	

施策別 行政サービス成果表

視点	01 暮らし		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	01 住む	コスト 合計	18,205千円	36,304千円				54,509千円
施策	10 ふるさと団地の再生を推進します							

【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
ふるさと団地再生事業	27,631千円	8,673千円	0千円	36,304千円	都市整備部 住宅政策課

【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 ふるさと団地への流入人口	定義	方向性	大和団地、多田グリーンハイツ、清和台地区の流入人口	<p>ふるさと団地への流入人口</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析		人口減少社会の中、本市においても昨年度より流入人口は減少しているが、数値的には目標値を達成している。	
	目標達成に向けた今後の課題		親元近居助成制度の拡充だけでなく、リフォーム助成や空家・空き地の利活用に関する施策等、流入人口の増加に向けた施策の検討を進められるかが課題となる。	
	担当課		都市整備部 住宅政策課	

評価指標				傾向
2 ふるさと団地の生産人口比率	定義	方向性	大和団地、多田グリーンハイツ、清和台地区の生産年齢人口比率	<p>ふるさと団地の生産人口比率</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析		少子高齢化の影響を受け、昨年度に引き続き減少となったが、昨年度より下落幅は小さくなっており、親元近居助成制度拡充の影響が窺える。	
	目標達成に向けた今後の課題		親元近居助成制度の拡充によりさらに若年世帯を呼び込むほか、空家・空き地の利活用に関する施策に生産年齢人口比率の上昇の視点を織り込む等、政策ミックスを検討できるかが課題となる。	
	担当課		都市整備部 住宅政策課	

施策別 行政サービス成果表

視点	01 暮らし	コスト 合計	H25	H26	H27	H28	H29	合計	
政策	02 にぎわう		131,343千円	126,289千円					257,632千円
施策	11 商工業を振興します								

【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課	
	事業費	職員人件費	公債費	合計		
中小企業者災害復興支援事業	200千円	0千円	0千円	200千円	市民生活部	産業振興課
商工振興事業	16,990千円	0千円	0千円	16,990千円	市民生活部	産業振興課
中小企業支援事業	100,426千円	8,673千円	0千円	109,099千円	市民生活部	産業振興課

【施策評価指標】

評価指標				傾向	
1 主に市内で買い物をする市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>主に市内で買い物をする市民の割合</p>	
	実績値の評価・分析		平成25年度より、0.4ポイント増加した。校区別の割合では、北部及び南部の市境地域の数値が低くなっていることから、近隣市の大型商業施設への買い物客流出の傾向がうかがえる。		
	目標達成に向けた今後の課題		市内消費を促すために、各地域のイベント事業の支援や商業振興を目的とした事業の実施により、まちの魅力を高め、市内の商業の発展に努める。		
	担当課		市民生活部 産業振興課		

評価指標				傾向	
2 市内総生産額	定義	方向性	兵庫県市町民経済計算より(市町内GDP速報値)※数値は速報値(名目)。	<p>市内総生産額</p>	
	実績値の評価・分析		基準値と比較して平成25年度の市内総生産額は212億円増加した。なお、平成26年度の実績値は、まだ公表されていない。		
	目標達成に向けた今後の課題		国の公表では、景気は緩やかな回復基調が続いている、とされている。今後も、景気の動向を注視しながら、引き続き支援を行っていく。		
	担当課		市民生活部 産業振興課		

評価指標				傾向	
3 小売業店舗数	定義	方向性	経済センサスより※次回の市町別数値(速報値)は公表時期未定	<p>小売業店舗数</p>	
	実績値の評価・分析		平成24年度の小売業店舗数は645店舗となっており、基準値よりも大幅に減少している。なお、平成25年度以降の実績値は、まだ公表されていない。		
	目標達成に向けた今後の課題		各商業団体によるイベント等のにぎわいづくりが行われているものの、実績には結びついていない状況である。目標達成には、各商業団体の自発的な取り組みにより、地域の活性化を図っていくことが重要であるため、引き続き支援を行う。		
	担当課		市民生活部 産業振興課		

施策別 行政サービス成果表

評価指標				傾向								
4 工業事業所数	定義	方向性	工業統計調査(従業員4人以上)より	<p>工業事業所数</p> <table border="1"> <caption>工業事業所数推移</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値</td> <td>97</td> </tr> <tr> <td>H25</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	項目	数値	基準値	97	H25	98	目標値	100
	項目	数値										
	基準値	97										
	H25	98										
目標値	100											
実績値の評価・分析		基準値と比較して平成25年度の工業事業所数は1事業所増加した。なお、平成26年度の実績値は、まだ公表されていない。										
目標達成に向けた今後の課題		今後も、工業事業所数の現状維持をめざし、引き続き工業事業者を支援する。										
担当課		市民生活部 産業振興課										

施策別 行政サービス成果表

視点	01 暮らし		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	02 にぎわう	コスト 合計	54,614千円	30,762千円				85,376千円
施策	12 中心市街地の活性化を推進します							

【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
中心市街地活性化推進事業	14,524千円	8,673千円	0千円	23,197千円	市民生活部 産業振興課
川西都市開発株式会社経営支援事業	7,565千円	0千円	0千円	7,565千円	総合政策部 財政室

【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 鉄道の1日の乗降客数	定義	方向性	市統計要覧(阪急電鉄・能勢電鉄川西能勢口駅、JR西日本川西池田駅の計) →	鉄道の1日の乗降客数 <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析		目標数値を達成したが、多くの人は、通過しているだけで、川西能勢口駅周辺の商業施設や店舗等に流れてない傾向がある。	
	目標達成に向けた今後の課題		多くの人をまちに呼び込む施策を実施し、中心市街地の商業の発展に努めることで、現状維持をめざす。	
	担当課		市民生活部 産業振興課	

評価指標				傾向
2 休日の歩行者通行量	定義	方向性	川西能勢口駅周辺歩行者通行量調査より ↗	休日の歩行者通行量 <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析		H19年度以降、減少傾向にあったが、中心市街地活性化基本計画の事業実施により、数値は増加し、上昇傾向にある。	
	目標達成に向けた今後の課題		アステ川西周辺の数値が特に増加しており、商業施設等のリニューアルに加えて、「きんたくんバル」などの商業振興を目的としたイベント事業実施の相乗効果が表れた結果と考えられるため、今後も継続して実施することで、さらなる増加をめざす。	
	担当課		市民生活部 産業振興課	

施策別 行政サービス成果表

視点	01 暮らし	コスト 合計	H25	H26	H27	H28	H29	合計	
政策	02 にぎわう		69,856千円	59,369千円					129,225千円
施策	13 農業を振興します								

【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課	
	事業費	職員人件費	公債費	合計		
農業共済事業特別会計繰出金	7,453千円	0千円	0千円	7,453千円	市民生活部	産業振興課
農業振興事業	7,203千円	17,346千円	0千円	24,549千円	市民生活部	産業振興課
農業用施設改良事業	18,294千円	0千円	0千円	18,294千円	市民生活部	産業振興課
農業用施設等災害復旧事業	9,073千円	0千円	0千円	9,073千円	市民生活部	産業振興課

【施策評価指標】

評価指標				傾向	
1 直売所来場者数	定義	方向性	市内の直売所への来場者数	<p>直売所来場者数</p>	
	実績値の評価・分析		市内で採れた安心・安全な新鮮野菜等へのニーズは高まる一方で、直売所の魅力の低下など、来場者数が減少した。		
	目標達成に向けた今後の課題		引き続き、地産地消を推進する観点から、地元農産物の認知度を上げるほか、直売所のPRに努めるなど、本市の都市近郊立地を生かした都市農業を振興していく必要がある。		
	担当課		市民生活部 産業振興課		

評価指標				傾向	
2 特産物栽培面積	定義	方向性	いちじく、桃、くりの栽培面積	<p>特産物栽培面積</p>	
	実績値の評価・分析		栽培面積は平成25年度と比較し若干持ち直す傾向にあり、今後も現状維持を保つ取り組みが必要である。		
	目標達成に向けた今後の課題		新規消費者の確保や新たな需要拡大を促すため、各種即売会の実施や特産物を使用した加工品のPRやブランド化に努める。		
	担当課		市民生活部 産業振興課		

評価指標				傾向	
3 農作物作付面積	定義	方向性	水稲生産実施計画に基づく農作物を作付けしている面積	<p>農作物作付面積</p>	
	実績値の評価・分析		担い手不足による耕作放棄地の増加や有害鳥獣等の被害によって生産意欲が低下し、作付け面積が減少している。		
	目標達成に向けた今後の課題		引き続き、耕作放棄地の解消と担い手育成に努める。また、南部地域では、桃・いちじく等の果樹やトマト・しゅんぎく等の軟弱野菜のほか、中・北部地域では、水稲や切枝などの花木の生産が多く、それぞれの地域の特性に合わせた支援に取り組む。		
	担当課		市民生活部 産業振興課		

施策別 行政サービス成果表

視点	01 暮らし		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	02 にぎわう							
施策	14 就労支援の充実と勤労者福祉の向上を図ります	コスト合計	55,499千円	55,679千円				111,178千円

【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
就労支援事業	6,663千円	0千円	11,564千円	18,227千円	市民生活部 産業振興課
労働者災害復興支援事業	470千円	0千円	0千円	470千円	市民生活部 産業振興課
労働者支援事業	19,636千円	17,346千円	0千円	36,982千円	市民生活部 産業振興課

【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 自分の仕事にやりがいを感じている市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>自分の仕事にやりがいを感じている市民の割合</p> <p>90% 85% 80% 75% 70%</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析		仕事にやりがいを感じている市内勤労者の割合は昨年に比べ、大幅に減少した。	
	目標達成に向けた今後の課題		今後も引き続き、中小企業勤労者福祉サービスセンターによる福利厚生充実や市内勤労者に対する労働相談等を通して、勤労者の勤労意欲の向上を図る。	
	担当課		市民生活部 産業振興課	

評価指標				傾向
2 川西しごと・サポートセンターの年間就職件数	定義	方向性	事業所へ紹介した人が採用された件数	<p>川西しごと・サポートセンターの年間就職件数</p> <p>1,750件 1,500件 1,250件 1,000件 750件</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の評価・分析		就職件数はほぼ横ばいだが、紹介件数は減っており、採用率は上がっている。	
	目標達成に向けた今後の課題		今後、地方創生による景気回復を背景に、引き続き就労支援に努め、地域の雇用情勢の改善につなげていく。	
	担当課		市民生活部 産業振興課	

施策別 行政サービス成果表

視点	01 暮らし		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	02 にぎわう							
施策	観光資源を発掘・ 15 開発・PRし、知名度を 高めます	コスト 合計	88,681千円	74,664千円				163,345千円

【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
国内交流事業	609千円	0千円	0千円	609千円	市民生活部 文化・観光・スポーツ課
観光推進事業	5,553千円	0千円	0千円	5,553千円	市民生活部 文化・観光・スポーツ課
イベント支援事業	11,034千円	8,673千円	0千円	19,707千円	市民生活部 文化・観光・スポーツ課
猪名川花火大会事業	1,421千円	8,673千円	0千円	10,094千円	市民生活部 文化・観光・スポーツ課
知明湖キャンプ場管理運営事業	7,293千円	0千円	0千円	7,293千円	市民生活部 文化・観光・スポーツ課
知明湖活用推進事業	7,672千円	8,673千円	0千円	16,345千円	都市整備部 公園緑地課
ダリヤ育成事業	6,390千円	8,673千円	0千円	15,063千円	都市整備部 公園緑地課

【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 姉妹都市である香取市 の名前を聞いたことが ある市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>姉妹都市である香取市の名前を聞いたことがある市民の割合</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の 評価・分析		前年度より7.1ポイント減少し、基準値よりも下がった。	
	目標達成 に向けた 今後の課題		今後とも、川西市国際交流協会の事業などを通じて市民交流を進めるとともに、姉妹都市のPRに努め、認知度を高める必要がある。	
	担当課		市民生活部 文化・観光・スポーツ課	

評価指標				傾向
2 観光客入込数	定義	方向性	兵庫県観光客動向調査より(観光施設を抜粋)	<p>観光客入込数</p> <p>基準値 H25 H26 H27 H28 目標値</p>
	実績値の 評価・分析		観光客入込数は前年度より7千人と微増で、2年連続増加している。	
	目標達成 に向けた 今後の課題		今後とも、幅広い世代に本市を訪問してもらえるよう、観光PRに努めるとともに、市観光協会へ支援を行い、ハイキングコースのパンフレット・ホームページ等での紹介や観光プリンセスによるPRなど、観光客が訪問しやすい環境を整備していく。	
	担当課		市民生活部 文化・観光・スポーツ課	

施策別 行政サービス成果表

視点	01 暮らし		H25	H26	H27	H28	H29	合計
政策	02 にぎわう							
施策	文化・スポーツを通して、市民が輝く環境づくりを進めます	コスト 合計	633,521千円	775,398千円				1,408,919千円

【事業・コスト一覧】

事業名	26年度				担当課
	事業費	職員人件費	公債費	合計	
文化振興事業	111,373千円	17,346千円	0千円	128,719千円	市民生活部 文化・観光・スポーツ課
芸術文化施設維持管理事業	146,414千円	0千円	3,361千円	149,775千円	市民生活部 文化・観光・スポーツ課
生涯スポーツ推進事業	11,633千円	17,346千円	0千円	28,979千円	市民生活部 文化・観光・スポーツ課
競技スポーツ推進事業	4,375千円	8,673千円	0千円	13,048千円	市民生活部 文化・観光・スポーツ課
スポーツ施設管理運営事業	264,668千円	0千円	17,693千円	282,361千円	市民生活部 文化・観光・スポーツ課
アステ市民プラザ運営事業	62,656千円	29,952千円	3,855千円	96,463千円	市民生活部 アステ市民プラザ
東久代公園災害復旧事業	76,053千円	0千円	0千円	76,053千円	市民生活部 文化・観光・スポーツ課

【施策評価指標】

評価指標				傾向
1 過去1年間に継続してスポーツをした市民の割合	定義	方向性	市民実感調査より	<p>過去1年間に継続してスポーツをした市民の割合</p>
	実績値の評価・分析		H26年度は基準値より3.1ポイント低下し、基準値より2年連続減少している。	
	目標達成に向けた今後の課題		今後とも、各種スポーツ団体の支援を行うとともに、社会体育施設等の適切な管理運営、ニュースポーツの普及など、市民がそれぞれの生活や体力等に合わせたスポーツに親しみ、継続できる環境づくりを進めていく。	
	担当課		市民生活部 文化・観光・スポーツ課	

評価指標				傾向
2 文化会館・みつなかホールで実施される自主事業の集客率	定義	方向性	入場者数÷定員	<p>文化会館・みつなかホールで実施される自主事業の集客率</p>
	実績値の評価・分析		26年度は25年度より4.4ポイント増加し、順調に目標値に向かって推移している。	
	目標達成に向けた今後の課題		今後とも、多様な市民のニーズを踏まえて、文化会館・みつなかホールで様々な自主事業を展開することによって、集客率の向上をめざす。	
	担当課		市民生活部 文化・観光・スポーツ課	

